

議 事 録

第 1 回	
日 時	2014年9月30日(火) 14:00～17:00
場 所	埼玉県行田県土整備事務所 大会議室
議 事 名	星川環境保全検討委員会
	<p>■ 出席者</p> <p>学識委員 一般財団法人自然研究環境センター 上級研究員 渡辺綱男 京都大学大学院地球環境学堂 景観生態保全論分野 准教授 深町加津枝</p> <p>一般委員 星川の自然とキタミソウを守る会 会長 栗原二郎 みどりのぎょうだネットワーク 保護部会長 島田勉 行田ナチュラルリストネットワーク 代表 橋本恭一 行田市郷土博物館協議会 会長 永沼規美雄</p> <p>行政 埼玉県環境部みどり自然課 行田市建設部 埼玉県行田県土整備事務所</p> <p>事務局 埼玉県行田県土整備事務所 河川公園担当 (県土整備部河川砂防課)</p> <p>■ 次第</p> <p>1 開会 2 あいさつ 3 出席者紹介 4 議事 (1) 規約(案)の承認 (2) 委員長及び委員の選出 (3) 基本事項の確認について (4) 今後のスケジュール案について (5) 検討事項 5 閉会</p>

	<p>■ 資料</p> <p>資料 1 検討委員会設置規約（案）</p> <p>資料 2 - 1 星川の河川整備計画</p> <p>資料 2 - 2 星川河川改修状況図</p> <p>資料 3 星川平面図</p> <p>資料 4 馬見塚橋のアンケート（案）</p> <p>資料 5 馬見塚橋現況平面図</p> <p>資料 6 キタミソウモニタリング分布図</p> <p>参考資料 1 星川におけるキタミソウ保全対策案（H12）</p> <p>参考資料 2 星川環境保全検討委員会のスケジュールについて</p>
事務局	<p>■ 議事</p> <p>1 開会</p> <p>・事務局による資料の確認・説明を行った。</p> <p>【事務局からの説明】</p> <p>本日はお忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今から「第1回星川環境保全検討委員会」を始めさせていただきます。</p> <p>本日進行役を務めさせていただきます、行田県土整備事務所 河川公園担当 小崎と申します。よろしくお願いたします。</p> <p>まず、はじめに本日配布しております、資料の確認をさせていただきます。一番上に本日の次第をお配りしていると思いますが、その下段に資料の一覧が書かれておりますので、これと照らし合わせてご確認ください。</p> <p>（上記の資料一覧参照）</p>
事務局 桑原副所長	<p>2 あいさつ</p> <p>・行田県土整備事務所 桑原副所長より本検討会の趣旨等を含め、あいさつがあった。</p> <p>【事務局からのあいさつ】</p> <p>それでは、次第に沿って進めさせていただきます。まず、はじめに、行田県土整備事務所 桑原副所長から一言ご挨拶させていただきます。</p> <p>みなさん、こんにちは。</p> <p>ただいまご紹介に預かりました、行田県土整備事務所 副所長の桑原と申します。本日は誠にお忙しい中、また、まだ夏の日差しが残って暑い中、星川環境保全検討委員会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。</p>

	<p>星川の整備につきましては、平成11年に発足しました「星川におけるキタミソウ保全対策委員会」によって策定されました「キタミソウ保全対策案」に基づいて、地元の皆様とも対話を進めながら、これまでも整備を進めさせていただいております。ただ、既に策定後15年を経過しており、新たなステップへ進むべきと考えております。また、去年の平成25年9月には、地元の方から馬見塚地区における星川の改修事業についての要望・提案を受けております。それを皮切りに、本日もおこしいただいております深町先生、渡辺先生を加えまして、意見交換をさせていただきました。その後現場での研修も行い、今年3月には今回の検討会の準備委員会も含めて、意見交換を行いました。今後は、埼玉県としても、行田県土整備事務所としても、これまで進めて参りました星川での実績をステップアップさせていきたいと考えております。地元の方が「ふるさとしてこうだったらいいな」と感じ、さらに親しみを持てる川になればいいなということで、今回の検討委員会をすることにしたわけでございます。</p> <p>地元の皆様と専門的な知識を持ってられる皆様のご協力をいただきまして、新たな星川の整備が進められればと考えております。皆様のご協力をいただきながら検討委員会の中で有意義な会となるよう期待し、私からの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>3 出席者紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介を行った。 <p>4 議事</p> <p>(1) 規約(案)の承認</p> <p>【事務局からの説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1「検討委員会設置規約(案)」について説明を行った。 <p>【委員からの意見等】</p> <p>島田委員 他の検討委員会では事前に議事録の確認をしますが、今回の検討会の議事録は確認できるのでしょうか。</p> <p>事務局 埼玉県の審議会規則では、議事録を2名以上に確認することが定められております。事務局案としては委員長・副委員長の確認をいただき、議事録としたいと考えておりますが、これについてご意見をいただければと思います。</p> <p>深町委員 自分の発言について確認したい委員もいるはずなので、一度全委員に確認を求め、最終的な決定は委員長・副委員長にさせていただければ、みなさんが納得</p>
--	--

事務局	<p>するのではないかと思います。</p> <p>議事録を作成した時点で一度全委員に配布し、自身の発言について確認していただくことにしたいと思います。全委員に確認していただいた上で、最終的には委員長・副委員長の捺印をいただき、議事録の承認とさせていただければと思います。</p>
橋本委員	<p>(2) 委員長及び副委員長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長・副委員長の選出を行った。 <p>【委員からの意見等】</p> <p>委員の中で一番客観的に見ることができると思われる渡辺氏がふさわしいのではないかと思います。</p>
桑原副所長	<p>異議はありますでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
桑原副所長	<p>それでは、渡辺氏に委員長を選任したいと思います。</p>
渡辺委員長	<p>副委員長についてどなたか推薦のご意見はございますでしょうか。</p>
橋本委員	<p>もっとも地元であり、キタミソウの保全に取り組んでいる団体「星川の自然とキタミソウを守る会」の会長であります栗原氏を推薦いたします。</p>
渡辺委員長	<p>みなさん、いかがでしょうか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
渡辺委員長	<p>それでは、よろしく願いいたします。</p>
	<p>(3) 基本事項の確認について</p> <p>【事務局からの説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考資料1「星川におけるキタミソウ保全対策案（H12）」について説明を行った。 <p>【委員からの意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし
	<p>(4) 今後のスケジュール案について</p> <p>【事務局からの説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考資料2「星川環境保全検討委員会のスケジュール」について説明を行った。 <p>【委員からの意見等】</p>
渡辺委員長	<p>スケジュールに関して、何かご意見・ご質問はございますでしょうか。</p>

深町委員	<p>馬見塚橋のアンケートについて、どういう形で行うかは当然検討していくとして、地元の想いも聞きつつ、土木関係や橋梁関係の専門家に馬見塚橋にどのような価値や特徴があるのかということをしっかり聞いて専門的に見ていくということをしていいと思います。今の時点で、そのような件に関してはどのようにお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>馬見塚橋は近代土木遺産に指定されていますが、地域の方にどのくらい知られているかは把握しておりません。まずは、馬見塚橋がどれほど重要な橋か理解したうえで、地域の皆様に馬見塚橋に関する価値を周知する等、アンケートの前にワンクッション置くことを検討していければと思います。具体的には、みなさんの意見を頂戴できればと思います。</p>
深町委員	<p>地域の方々に周知することも大切だと思いますが、どういう特徴や価値があるのかということ専門家に聞く等、情報の蓄積をした方が良いと思います。例えば、パンフレットや何かにまとめるような作業があってもいいのかなと思います。</p>
渡辺委員長	<p>今年度は3回の検討会が予定されていますが、検討会の場合だけで議論していくのではなく、事務局の方でもみなさんの方でも、次回の検討会に向けて作業を行っていくことになると思いますし、そのように平行して動いていくことで良い議論になっていくと思います。後ほどの検討事項でも作業に関わる場所や橋のアンケートの話も出てくると思いますので、その際に橋やアンケートに関して議論をしながら次回までにどういった作業を行っていくかというようなことを一緒に検討していければと思います。よろしく願いいたします。</p>
島田委員	<p>検討委員会の規約の中に具体的に馬見塚橋と書いてありますが、馬見塚橋という具体的な名前が出てきたことがとても良いと思います。キタミソウの保全だけでなく、原風景・景観をどう保全するかということを考えるということは本当に素晴らしいと思います。景観の中には、自然景観、歴史的・文化的な景観というものがあり、馬見塚橋は、おそらく文化的・歴史的景観に含まれると思います。この近隣で、吹上の元荒川に新佐賀橋という橋がありますが、その橋は、土木学会選奨土木遺産となっており、土木遺産だと分かる看板が設置されています。例えば、もしその橋を壊したら、思い出や地域に対する気持ちも消えてしまいます。馬見塚橋に関しては、耐久性の問題もあると思いますが、下流に立派な橋を建設しておりますし、その橋が大型の車が通れる橋になるでしょうから、やはり上流の馬見塚橋は今までのままで残してあげたいなと思っています。</p>
渡辺委員長	<p>今日の検討事項の中には、馬見塚橋の保全または改修についてどういった検討をしていくかということもあります。島田さんの意見も含めて、また後の検討</p>

<p>永沼委員</p>	<p>討事項の中で議論していければと思います。</p> <p>馬見塚橋の話が出たので、関連して意見を申し上げたいと思います。馬見塚橋は昭和10年に建設されたので、もう80年経っているわけです。馬見塚橋はもうだいぶ古くなっているのだから架け替えをしてもらいたいという意見は馬見塚地域の方々から聞くことがあります。アンケートをとる場合に、架け替えをした方がいいかどうかという短絡的なアンケートではないとは思いますが、馬見塚橋が近代土木遺産に選定されているということもありますし、馬見塚橋がどのような工法、材質で作られていて、どのような価値があるのかということも含めて、地元の住民に啓発したり、私たちも教えていただいたり、そういう場が必要だと思います。馬見塚橋について、住民の方々もさまざまな角度から知識を持ち、その上で馬見塚橋をどうするか意見を聞く等、段階的に地域の方々に周知した上でアンケートをやっていただければと思います。</p> <p>一つ質問があるのですが、馬見塚橋の保存や架け替えは行田市の建設局が行っているのか、県土整備事務所が行っているのか、もしくは協力して行っているのか、役割分担や所管はどのようになっているのか、改めてお話しいただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>星川の改修に合わせて馬見塚橋を架け替えることになるので、行田県土整備事務所河川公園部と行田市建設部道路治水課と協力して行っていくことになります。橋が完成した後の管理については、道路管理者である行田市建設部道路治水課の所管となります。架け替えとなると、星川と馬見塚橋がセットで原風景だということもありますので、行田県土整備事務所河川公園部と行田市建設部道路治水課と協力して行っていくことになります。</p>
<p>渡辺委員長</p>	<p>橋の価値について情報をみなさんと共有した上で、どうしたらいいかということを決めていければと思います。歴史的な土木構造物を将来にわたって、どう継承していくかさまざまな意見がありますが、その橋が持つ価値をどうすれば引き継いでいける可能性があるのか意見交換した上で、単に保存か架け替えかというアンケートをするのではなく、みなさんと共有すべき情報をしっかり整理した上で地域の方の意見を伺っていくというように慎重に進めていくべきだと思います。後ほど橋に関する議論のときに伺いたいと思います。その他スケジュールに関するご意見・質問はございますでしょうか。</p>
<p>橋本委員</p>	<p>馬見塚橋の特徴や価値については、ものづくり大学の増淵文男先生から話を聞いてみてはいかがでしょうか。</p>
<p>渡辺委員長</p>	<p>ぜひお願いしたいと思います。</p> <p>(5) 検討事項について</p>

<p>渡辺委員長 島田委員</p>	<p>①河川整備計画について</p> <p>【事務局からの説明】</p> <p>・資料2-1「星川の河川整備計画」資料2-2「星川河川改修状況図」について説明を行った。</p> <p>【委員からの意見等】</p> <p>河川整備計画について、ご意見・ご質問はございますでしょうか。</p> <p>行田県土整備事務所管内の工事に引き続き、いずれは熊谷の工事が始まると思いますが、もし行田管内で検討会を開き、住民の意見を聞き、キタミソウに配慮した工事を行ったとしても、それが他の区間においても活かされるのか、非常に心配しています。上流の熊谷では河川周辺のキタミソウやその他の動植物、自然景観を無視した工事をする可能性もあると思います。行田県土整備事務所と熊谷県土整備事務所との話し合い等は行っているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>熊谷県土整備事務所と行田県土整備事務所で情報共有は行っております。資料2-1「星川の河川整備計画」左下の③約32.0km付近の写真のように、現在はコンクリートで固められた護岸になっているので、将来的には河川整備計画でも定められているように環境に配慮した形に改良していくという考えがあります。熊谷県土管内区間と行田県土管内区間の違う点は、小宮堰から取水をしており、その小宮堰の改築事業との調整で時間を要しているということです。ただ、河川整備は下流から行っていくため、現在も熊谷県土整備事務所は行田県土整備事務所の取り組みを注視しているという段階です。また、資料2-2の施工箇所代表断面図は、想定した流量を流すために、必要な幅と深さを表した代表的なものであり、これを基に設計の段階で変更することは可能でございます。</p>
<p>渡辺委員長 深町委員</p>	<p>②原風景のイメージ作りに必要な資料収集方法について</p> <p>【事務局からの説明】</p> <p>・資料3「星川 馬見塚橋～境橋 平面図」について説明を行った。</p> <p>【委員からの意見等】</p> <p>今後星川の河川整備に関して整備方針を考えていく上で、資料を集めながら意見を聞いて、原風景のイメージを描き、それをベースにして今後の整備内容を考えていくという説明だったと思います。これに関して、非常に重要な内容だと思いますが、何かご意見・ご質問はございますでしょうか。</p> <p>全体的なイメージパースをつくることは、みなさんにわかりやすく大切であると思いますが、原風景を支えるさまざまな要素や景観を構成する要素をリストアップし、要素ごとにまとめていくことが大切だと思います。先日魚釣りを</p>

	<p>している方に話を聞いたのですが、昔池があって池に釣った魚を入れておいたとか、川の中でも深みがあって魚が集まるところがあるとか、魚釣りの台のようなものがまだ残っているとか、星川を全体的に見てしまうと見えなくなるものがあると思います。川の中のことや四季で変化すること、川だけでなく川の周辺の風景など、原風景を支えるさまざまな要素や景観を構成する要素として大事なものがどういうものか整理していくことが大切だと思います。そういった要素を地図上に細かくプロットしていく。現在の状況と過去の様子も含め、過去からの変遷も加えながら描いていくことが大事です。聞き取り調査でも写真などの情報だけでなく、そこで実際に体験している人の話を聞くことも非常に大切だと思います。</p>
事務局	<p>画一的な一枚のイメージパースではなく、さまざまな要素を取りこぼさないような調査を行っていきたいと思います。</p>
渡辺委員長	<p>聞き取りをしながら地図に情報を落としていくことが大切だと思います。そのためには、聞き取りを丁寧に行っていく必要があります。例えば、コンサルタントが聞き取りを行うのか、地域とつながりのある人が行うのか。情報を集めてくるやり方をよく考えていく必要があると思います。また、今後、県で資料を集めていく作業はどのような体制で行われるのでしょうか。聞き取りも含めて、よりきめ細かな情報を集めるために、資料収集において地元の人の協力を得て作業をしていくという方法もあると思います。</p>
橋本委員	<p>その辺は地元で詳しい人に情報を集めてもらうしかない。私や島田さんは現況のことは知っているが、以前のことはわかりません。</p>
深町委員	<p>外からいらっしやって気がつくこともあると思います。風景の要素も大事ですが、生き物など他の観点から見ていただくと、大事な要素がもれなく集まると思います。地元の方は昔の経験や思い出の要素が多く出てくると思いますが、さまざまな視点からの意見があることが大切なのだと思います。</p> <p>検討する区間については、整備済区間も含めて考えてよいのでしょうか。未整備区間だけでなく、整備済区間についても今後整備を行う際に共通の留意事項として考えられると思いますので、全体について考えてよろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p>一応、環境保全検討委員会としては馬見塚橋から境橋が該当地区ですけれども、既に整備したところで少しの工夫で改善できるということがあれば、整備済の区間であっても検討の余地はあると思います。</p>
渡辺委員長	<p>整備済区間でも、残っている様子を見て丹念に検討していくということですね。</p> <p>行田県土整備事務所から、先ほどスケジュールの説明の中で、原風景のイメ</p>

	<p>ージについて必要な資料収集を行っていくとのことでしたが、どのような体制を考えていますか。例えば県の職員が集めてくるのか、県が発注したコンサルタントが作業をするのか、いろいろな形があると思うのですが、今考えている体制はどんな体制ですか。</p>
事務局	<p>まず、行田市郷土博物館に行田県土整備事務所からご挨拶に行き、主旨の説明をし、昔の資料が残っているかどうか確認をしています。実際の細かい資料収集についてはコンサルタントの方にお任せしようと思っております。収集した資料について、また行田県土整備事務所の方で精査をし、資料づくりに活かしていければと考えております。</p>
渡辺委員長	<p>地域の方々に昔の話を聞いていく上で、地域の方々と共同で作業をしていくという方法もあり得るのではないかなと思うのですが、委員のみなさんはどう思われますか。</p>
島田委員	<p>コンサルタントと言ってもさまざまなコンサルタントがあるので、レベルのある程度上の方のコンサルタントに頼まないと意味がない。県と予算の関係もあると思いますが、レベルを見ないといけないと思います。</p>
事務局	<p>昔の星川の周辺がどうだったかは、私は数十年しかわかりませんが、野鳥の記録だけならとってありますので、その協力だけはできます。</p>
事務局	<p>地域の方で昔からいらっしゃる方を紹介していただければ、行田県土整備事務所とコンサルタントで伺って、調査をしたいと考えています。</p>
渡辺委員長	<p>地域の方々からも協力があると、より良い情報が集まってくるのではないのでしょうか。そのためにも、地域の方々から行田県土整備事務所とコンサルタントにアドバイスしていただけるような関係ができればいいなと思っています。</p>
永沼委員	<p>栗原副委員長も馬見塚の住民ですので、昔のことはよく知っていると思うんですけども、私ももう70年近く住んでいますので、私も昔のことも覚えていますし、私よりも年齢の高い方でより詳しく知っている方もいらっしゃいますので、紹介することはできると思います。</p>
渡辺委員長	<p>栗原さんも地元の方ですけども、どうでしょうか。</p>
栗原副委員長	<p>地元の方は、今までは自然のままの状態、時期や降雨の状況によって水があがってきたりして、上流からの浮遊物が流れてきたり、崩れてしまったり、見た目もよくなかったわけです。それはそれで自然でいいですが、災害のことを考えるとそのまま放っておくというのはどうかと思うのですが、まったくそういう計画もなく、自然そのままの形で来たわけですけども、今回このように検討会が始まって、議論が進んでいるわけです。</p>
	<p>私も水の関係で地元の河川の整備は気になっていて、写真を撮り記録を数年しています。その関係で、他の人よりも頻りに星川に行っていると思います。</p>

	<p>その中で、まったくの原風景ではないけれども、そういうのを活かした形でかなり整備されてきて、非常に自然な状況にはあるなと思っています。</p> <p>また、先ほど深町さんがおっしゃった、昔池があった場所はおそらく、上池守・下池守だと思います。そこには、すぐ屋敷に隣接して川があるので、溜まった土をよけ、池をつくり木を植えたりすることで、小魚や、なまずが住んでいたと思います。</p> <p>また、夏になると水がたくさん入り、池から水が引いた後には、そこで魚取りのような形で取るというような、そういう目的もあったと思います。そこにはそういう場所がいくつかありました。</p> <p>また、現在の星川にも自然の木が多いので野鳥が来たり、魚が豊富にいたり、夏場は、魚がジャンプしているのが見えたりします。水の引いたあとはカルガモやいろいろな鳥が来ていたりします。そういった点では、整備されていても昔から変わっていないという印象があるのではないのでしょうか。地元の間人としては、整備されて川がきれいになっているという印象は持っていると思います。</p> <p>先程イメージの話が出ましたが、資料5右下の馬見塚橋の写真を見ると、これを架け替えてコンクリートの橋にした場合、まったく何もないというのがわかると思うんですね。今回の検討委員会によって、馬見塚橋が田園風景になじんでくれるといいなと思います。景観というだけではなくて、文化財としての価値等を調べてもらえれば、地元の意識につながってくると思います。全体的には今までの整備も地元としては歓迎しているとは思いますが。</p>
事務局	<p>今の現況については、河川沿いに屋敷林がどのくらいの接近距離であるとか等、現場を見ればわかるところは調べます。昔については、集会場等に地域の方々に集まってもらい、フリーディスカッションをすることで、その内容を地図に落とししてもらいながら、それを基にまとめていきたいと思っています。文献等は郷土資料館等から集めますが、文献がどれだけ出てくるかわかりません。文献はきれいに内容がまとめてありますので、もっと泥臭い、地域の昔から知っている方々に生の声で、「この辺には池があったんだよ」というような話を聞くことは非常に重要だと思います。みなさまにご協力いただいて、一人ひとり話を聞くよりお集まりになってもらって、相互に話しながらであれば話も弾むし、そういう会を開くのはどうでしょうか。</p>
栗原副委員長	<p>江袋さんが自治会長なので、相談して会を開くことができるのではないのでしょうか。回覧板等を使って呼びかけることもできます。もしくは月1回、女性が中心になって集まっているサロンがあるので、そこに行って話を聞くのも一案ではないのでしょうか。</p>

深町委員	<p>すごく良い提案だなと思います。できれば私も参加させてもらいたいくらいです。いきなり工事についてどうするかという話をするよりは、まずみなさんがどのように河川に関わってきたか、思い出等の情報を共有することが大切だと思います。そういう会があると、いろんな意見が出てきて将来像が見えてくるだろうと思います。私も個人的にも参加したいですし、仕事としてもやっていますので、まとめのお手伝い等はできると思います。</p> <p>最近、近所の90歳くらいのおばあちゃんに聞いたら星川は水晶のように澄んでいてきらきら輝いていたと言っていました。川の水を昔のようになかなか戻すことはできないかもしれないですが、河川整備をよりよくするきっかけになるといいと思います。昔の話を聞くと言うのは、そういう点でも大切かなと思います。</p>
島田委員	<p>私の地区では地域サロンは活発です。私は地域サロンの協力員をやっていました。必ず月1回行っています。集まってくる方は固定されていますが、30名程度は毎回来ます。7割程度は女性ですが、みんな熱心に話も聞きますし、来る人は非常に活発です。</p> <p>馬見塚地区に限らず、地元をよく知っている人がたくさんいると思います。そういう方から上池守、下池守、斎条、和田辺りの人たちもあの一帯で遊んでいたと思いますので、そういうところにも昔の情報を集めれば、かなりの情報が集まってくるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>それでは、具体的なやり方というのは、自治会長さんを通じて、まずは地域サロンなどをターゲットにお話を聞いていきたいと思います。</p> <p>一人ひとりに話を聞くよりもざっくばらんに話すほうがいい情報が集まるかなと思います。自治会長さんを通じてざっくばらんに話す会を設けたいと思います。</p>
渡辺委員長	<p>それでは、情報収集についてはそのような方法でお願いいたします。</p> <p>それでは次に橋の説明へ移ります。</p> <p>③馬見塚橋の保存について</p> <p>【事務局からの説明】</p> <p>・資料4「星川馬見塚橋のアンケート（案）」、資料5「馬見塚橋現況平面図」について説明を行った。</p> <p>【委員からの意見等】</p>
渡辺委員長	<p>アンケートに関しては先程意見もいただいて、地域の方の意見をもっと取り込むやり方を考えていくということで、現況の説明がありました。橋の保存に関して議論を進めていく上で、みなさんから「ここは確認しておきたい」等の</p>

	意見や質問、今後の作業についての提案等ありましたらお願いします。
事務局	近代土木遺産になっているというのは、橋に何か表示されているのですか。
渡辺委員長	現地にはないです。
島田委員	地元では橋の重要性や近代土木遺産に選定されていることは知っているのですか。
渡辺委員長	あまり知られていないと思います。キタミソウに関しても、キタミソウが発見されても一部の人には知っているけれども、地元には知られていませんでした。橋も地元の人たちは目の前に貴重なものがあってもあまり知らないのではないのでしょうか。むしろよそから来た人のほうが、こんなものがあるのかと注目しています。やはり住民への啓発やPRが必要だと思います。
事務局	県や市では近代土木遺産ということは認識しているのですか。またどのような価値が評価されたのですか。
渡辺委員長	今回の検討会に向けて、私たちは勉強をしたが、実際はあまり知られていないと思います。
事務局	先程みなさんから橋のアンケートについて意見がありましたけれども、事務局はどのようにお考えですか。
深町委員	近代土木遺産というと、長崎のめがね橋やレンガで作られた橋等はイメージがありますが、馬見塚橋についてはどこに価値があるのかがわかりにくい。近代、昭和、戦前のもので高欄部分がカーブしているのが土木遺産に値するものなのか、橋全体に価値があるのかがわかりません。写真を見ると、下の橋脚はどこにでもあるものであると思うのですが、何を残すべきかがわかりません。
事務局	デザインじゃないのかなと思います。京都大学の橋梁や景観、土木の先生に聞いてみます。今もきちんと使われているという橋では、今では珍しいデザインの橋ではないのでしょうか。意匠がとても良いと思います。
渡辺委員長	昭和8年頃に建設された、もっと橋長の長い橋があるのですが、それは近代土木遺産になってないのです。意匠の問題でしょうか。
事務局	土木学会に近代土木遺産選定の委員会があって、どこかが秀でていたため土木遺産に選定されていると思います。そういうところも調べてみる必要がありますね。
	先程、アンケートについては二者択一で架け替えか保存かということではない方法で、という話が出ていましたが、まずこの橋が安全性の面でどのような問題があるかということについても共有をした方がいいと思います。そこを理解した上で、橋梁が持っているデザインなどの価値を継承しながら、安全性の面での問題を解決する。そのための模索というのは、きっと完全保存か全面的

	<p>に普通の橋にしてしまうか、その間でいろいろな選択肢があると思います。その辺の検討をする必要があると思うんですけども、事務局に対してこういう検討をしておいた方がいいとかこういう作業をした方がいいという委員の方からの意見があれば出しておいてもらえればと思います。</p>
行田市	<p>安全の面から言うと、どのような状況でしょうか。</p> <p>馬見塚橋は昭和 10 年に作られまして、80 年経っている橋です。橋の寿命はいろいろ説があるのですが、一般的に 50～60 年と言われております。行田市でも昨今の公共施設の老朽化に対する対策を行う必要がありました。行田市にある橋は大小含めて 800 橋以上、2m 程の小さいものから大きいものまで含まれています。その中で、15m 以上の比較的大きな橋は 50 橋強あり、それらを平成 21～23 年度に点検しました。馬見塚橋もある程度大きい橋に含まれます。馬見塚橋については平成 23 年度に橋の状況の点検をしました。点検の項目として、ひび割れ、亀裂、部材の腐食具合、鉄筋の露出・破断を見ただ中で、ひび割れと鉄筋の露出が見受けられました。その状況と利用度を含めて検討していく必要があります。現在の老朽度、橋の今の状況、橋が周辺に与える影響、たとえばバスが通る橋なのか、歩く人だけなのか、いろいろな手法を組み合わせ、その橋の状況の良し悪しではなくて、橋が老朽化しているということはわかっていますが、皆様の意見を聞きながらどういうやり方で改修や補修を行っていくか話し合っていきたいという段階であります。</p> <p>補足として、道路橋に関しては今の基準では、25t くらいが必要だと決まっているので、安全性としてはどうなのかなという思いはありますが、さまざまな条件があって方針決定を進めていくべきだと思いますので、ご意見を頂戴しながら進めていければと思っております。</p>
栗原副委員長	<p>2t と制限したことで支障をきたすとか、特に住民から苦情等は来ているのでしょうか。</p>
行田市	<p>従来から使っている橋ですので、使う人がある程度限定されているということもあると思うんですけども、みなさん気をつけていただいているということで、走りづらいついていう話はありませんけれども大きな改善の要望ついているのは来ていないという状況であります。</p>
渡辺委員長	<p>近代土木遺産としての価値についてはいかがでしょうか。価値があるが耐久性の面での問題が出てきたときに、価値を継承するために、どういった工夫ができるのか、そういったことについてもご意見があればお願いいたします。</p>
永沼委員	<p>地元ではこういう声もあります。両脇の高さがかなり低いです。車はすれ違えないのですが、車と自転車とときどきすれ違うことがあります。車と自転車がすれ違うには狭い。もしバランスを失って自転車が倒れたり、川に落ちたり</p>

	<p>したら危険だという話は聞きます。また、子どもが歩いていて、もしも川に落ちたら大事故になるよねという話もあります。なので、ぜひとも橋を残していただきたいとは思いますが、完全な形で残すのか、一部大事なところだけ残して利便性のあるように一部改修していくのか、別のところに近くに作るのか等、素人ではどのような方法が良いかよくわからないのですが、専門的な立場で検討していただきたいと思います。</p> <p>新しくできる北進大橋は、馬見塚橋から 200m くらいしか離れていない。北進大橋ができるからいいというわけではないですが、市役所の方では北進大橋と馬見塚橋とで関連づけた方向性は考えているのでしょうか。</p>
行田市	<p>今はないです。単独の橋ではなく、河川改修の中でやっていることなので、みなさんの意見を聞きながらやっていきたいと思っています。</p>
深町委員	<p>200m先の北進大橋は、どのような利用がされるという前提で考えているのですか。北進大橋ができることによって交通量だとか動線はどう変わっていくのでしょうか。</p>
事務局	<p>資料 2-2 を参照していただきたいのですが、県道のバイパスとなります。車道の両側に歩道もあり、比較的交通量の多い道路を想定した橋になっています。馬見塚橋とはかなり形態が違い、地域間交通というよりも広域的な交通を計画した橋になります。</p>
渡辺委員長	<p>重量車両は北進大橋を通るということですね。双方の利用の仕方も含めて考えていく必要があると思います。</p>
行田市	<p>交通の分散があるのではないかとこのことで、事前に都市計画課と話をしてきたところ、そういうことも十分予想されるということでした。そうした中で、今後の馬見塚橋を今までどおり車が通れる橋として機能させるのか、分散の仕方は変わってくると思います。今後アンケートやヒアリング結果を通して、判断していくべきだと思っています。</p>
渡辺委員長	<p>周辺の橋との関係、都市計画や交通計画との関係も踏まえながら、馬見塚橋の利用のあり方も含めて検討する必要があると思います。また、馬見塚橋の価値について専門家の意見も聞きつつ整理し、その価値を保存・継承するための技術的な検討も必要と考えます。</p>
	<p>④キタミソウモニタリングの将来的な実施方法について</p> <p>【事務局からの説明】</p> <p>・資料 6 「キタミソウモニタリング分布図」について説明を行った。</p> <p>【委員からの意見等】</p>
渡辺委員長	<p>事務局からは、今年はコンサルタントに発注して調査を行っていくというこ</p>

	とですけれども、平成12年度と比較出来る形で現況はしっかり押さえていく上で、住民にも協力してもらい、継続的なモニタリングの仕組みを作っていくたいということだと思います。事務局では、現在こんな形がいいなと考えていることはありますか。
事務局	5年に一回は行政による本格的な調査を行って、その間の4年間は地域の人ができる範囲・方法で調査できるような形を確立できればと考えています。
橋本委員	今年度はどちらのコンサルタントがやるのでしょうか。
事務局	K社が請け負っています。
渡辺委員長	埼玉県内のコンサルタントですか。
事務局	東京のコンサルタントです。
渡辺委員長	今まで星川の調査をやったことがあるところですか。
事務局	星川についてはないです。同じ行田市内の他川で生態系調査を行ってはいません。
深町委員	原風景の調査とは一緒ですか。
事務局	原風景の今回の業務とは別で行っております。
深町委員	コンサルタントも違うのですか。原風景の調査はどこがやるのですか。
事務局	原風景の調査はS社がやります。
渡辺委員長	埼玉県で活動されているのですか。
事務局	S社は県外に本社があります。東京です。
橋本委員	前は、S協会が調査を行いました。われわれとも知り合いがいたし、情報交換も非常にやりやすかったということがありました。今まで市の関係でコンサルタントが私のところに相談に来たりしていますが、正直言ってその二社のことをよく知りません。また、今まで県外のコンサルタントで機能していたという印象はありません。予算の関係もあるだろうし、県内のS協会がやるのがいいかどうかはわかりませんが、われわれの会の会員は地元の間も何人かいますし、そういった意味では非常にやりやすいということがあります。できればその辺を考慮してもらった方がよりよかったです。今さら言ってもしょうがないですが、残念だという気持ちはあります。できれば普段つきあっている人たちだったらお願いしやすい。御幣があるかもしれないが、S協会の業務をやっている人たちだったらわれわれもお互いにやりやすかったかなと思います。調査方法もいろいろあるので、こちらもこうしてくれと言えし、あちらもいろいろ言ってもらえたりするので、本当は一方的に決めずに相談してもらいたかったと思っています。
島田委員	すべてとは言いませんが、埼玉県の自然保護活動に関わるグループはS協会に関わっています。指導を受けたり、情報交換をしたり。自然保護のグループ

	<p>をよく知っているのは、やはり S 協会ですから、事前に話があってもよかったですかなと思います。もう何百回と行ってますが、2 日前にも旧忍川へ調査に行っています。その旧忍川の計画なんかを見ても、ただ鳥の調査する回数が 4 回とか、調査回数がわずかなんですよね。私は年間で 100 回は行っているわけですから。4 回くらいで旧忍川の鳥について議論をするという。あるいは、植物に関しても草が生い茂っているときは下の方は見えないのです。ですから、調査の回数が少ないですし、東京のコンサルタントが、調査が終わっても地元のわれわれとの情報交換や、連携がうまくとれるかなと思うと、疑問です。</p>
橋本委員	<p>われわれが協力や、無理を言えば、彼らも無理をして年 4 回の調査を 10 回はやらざるを得ないというように言えます。すべて入札というのもいいけれども、やっぱり実際にわれわれが見ている回数はコンサルタントよりはるかに多いですから、それがうまく連動できるか、その形も考えてもらったほうが本当はいいなと思います。今回はもう発注してしまったので、今年はコンサルタントが調査をして、今後有機的にネットワークできるような形ができればいいなと私は思います。</p>
事務局	<p>入札に関する事なので、検討委員会の中で S 協会にお願いすると決めることはできないですが、やりづらという意見についてはお聞きしました。その中で今後どういった形が望ましいのか検討していければと思います。例えば、私がイメージしているのは、小学生や小さい子がモニタリングできるような形を考えているが、難しいでしょうか。</p>
島田委員	<p>難しいと思います。</p>
渡辺委員長	<p>今年度コンサルタントが調査を行った以降、地域でどう見守っていくのか、参加型でモニタリングをするのか。去年 11 月には馬見塚地区周辺で地域の皆さんに参加いただいて協働で調査を行いました。もう少し下流のほうも含めて、ポイントを決めて調査を行うことは、可能性としてはありますよね。</p>
深町委員	<p>モニタリングは継続性を持たないと、どういった変化があったかや事業の妥当性の評価ができないので、科学的に意味がないと思います。やり方については、島田さんと橋本さんとよく打ち合わせをしていただいて、きちんと引き継いでモニタリングできる仕組みを作ることが今年度の最低限の業務だと思います。今年度に関してもコンサルタントと閉じて調査を行うのではなく、興味を持ってやりたいという地域の方がいたら、そういう方にもやり方を教えていただく等、今年度の業務も検討してほしいと思います。最低限の労力で意味のあるデータを継続して取り続けられる仕組みを考えていくことがお金を払ってコンサルタントにやってもらう意味だと思いますので、その二つだけはしっかりとやっていただくべきだと思います。</p>

島田委員	本当にその通りで、同じ調査コース、調査時間、調査項目で50年調査をやっています。モニタリング調査は科学なので、せっかく平成12年に終わった調査も違った方法でやってしまっただけでは比較にならないと思います。継続調査もまったく同様です。
渡辺委員長	地域の人で参加していただける人がいたら、今年も参加してもらって協力者を徐々に見つけていくことも大切だと思います。今年は決まったコンサルをしっかり指導して、今年作業の中で来年度以降の継続の仕組みもしっかり考えていってほしいと思います。
事務局	二人の指導をいただきながら、来年度以降のフォーマットを作っていきたいので、ご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。
事務局	まさしくそこなのです。県がやる場合は年に4回等数が決まってしまう。しかし、モニタリングについては継続が大事だと思っています。それを補完する仕組みを地域の皆様と作り上げたい。大々的に5年に一回は面的にやる。中4年間でやっていただいたことは、5年ごとにまとめて地域の人も絡めた取り組みをしていきたいと思っています。モニタリングの方法を確立して、どんな簡易的なことができるか、それを地域がやってくれば非常にいいなと思っています。それが原風景やキタミソウの保全につながっていくのではないかと思います。地域が入ることによって行政がやるよりもっと細かくやれたという形が理想だと思っているんですけども、それは地域との信頼関係だと思いますので、ご協力いただければと思っています。
深町委員	住民が行う調査では、一人一人が一定の区画であるプロット（例えば1m×1mの大きさのもの）を設定し、それを「マイ・プロット」として、散歩等で河川敷に行く際に、そのサイトの状態を見ることもできます。たとえば、写真を撮り、キタミソウが何%くらいあったか等を確認するなど、必ずしも専門的な知識がなくても気軽に参加してもらうことができます。そういうデータを蓄積していくことが大切だと思います。そういう意味のあるデータで残していただいて、それを埼玉県の大変な記録としてまとめていただくと全国のいろいろな河川の治水と環境保全を目指しているところに対する良いデータになると思います。
渡辺委員長	ぜひ調査を通じて、いい仕組みを作ってもらえればと思います。埼玉県みどり自然課ではどのように考えていますか。
みどり自然課	みどり自然課では、「県民参加生き物モニタリング調査」を行って6年目です。県内の生物多様性の保全団体さんに、こちらが推奨する動植物について、普段のフィールドで、決まったフォーマットを埋めてもらい、集計するという取り組みをしています。そういったものをキタミソウの調査に活かしていけれ

	<p>ばと思います。</p>
島田委員	<p>モニタリングに関しては、継続が本当に大事だと思います。私はみどり自然課とも関わっているのですが、希少動物の調査の調査委員をやっています。何十年と調査をやっていますので、私の意見が非常に通ります。今回だけ調査しているのではなく、何十年と同じ調査を続けて今がありますから、かなり意見を言うことはできると思います。</p>
渡辺委員長	<p>他に意見や聞いておきたいことはありませんか。</p>
	<p>第二回はどのようなスケジュールになりますか。</p>
事務局	<p>第2回は12月中旬～下旬を考えています。ヒアリングは10月中に日程調整し、サロンに参加させていただいて意見を聞いていきたいと思っています。キタミソウについては11・12月を予定しているので、10月中に島田さんと橋本さんに方向性について相談させていただければと思います。</p>
深町委員	<p>今日は行田市の建設部の方が来ていただきましたが、環境という観点で言うと、キタミソウに詳しいところなどは、行田市のどの部署になりますか。</p>
行田市	<p>自然保護や景観に関する部署はあるが、市レベルで、環境に関して県レベルの「みどり自然課」のような部署を求めていくことは現状では困難な状況です。</p>
深町委員	<p>良い取り組みをやっても行田市では発信する窓口がないのでしょうか。</p>
行田市	<p>話があったということで、関係するであろう部署に相談して対応していきたいと思っています。</p>
島田委員	<p>水城公園の件なのですが、忍沼川という川で10日に一回、何十年も調査しているのですが、自然を無視した工事、歴史を無視した工事が始まってしまっています。相談を受けて市の公園の方に意見を言いに行きました。専門の方がいないのでよくわからないということもあるみたいなのですが、わからなかったら専門に聞けということを書いて来ました。何十年と調査しているわけですから。一番忍城らしい景観が残っているところに護岸工事を安くあげるために自然景観や歴史的景観を残さないような工事をしているわけです。わからなかったら俺に聞けということを書いて来ました。</p>
行田市	<p>わかりました。担当の方に話してみます。</p>
橋本委員	<p>キタミソウのモニタリングに関して、県の方が言われるように小学校等を巻きこめれば本当にいいと思います。ただ行田市の教育委員会が協力してくれるか疑問があって、当然北小、南河原小などが協力してくれればいい形だと思うんですけど、どうなのかなということを思っています。うちの会に学校の先生が参加してくれることがあるのですが、学校の業務に差し支えがあるのでやめるようにという教育課長もいたくらいですから。市が協力するか疑問視していますが、もちろん市の教育委員会が協力してくれればできるとは思</p>

<p>渡辺委員長</p>	<p>います。小学校がどれだけ協力してくれるかはわかりませんが、そういうシステムが作ればとても良いと思います。</p> <p>市の方がどうやってこの事業に関わってくれるかということは非常に重要だと思えます。全国的にも参考になるケースになり得ると思うので、ぜひ市の方も積極的に関わっていただければと思います。</p> <p>また、検討会は3回ですが、その合間に動きがある場合、きちんと情報共有していただきたいと思えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>長時間にわたりご議論、ご検討いただきまして、ありがとうございました。それでは、以上をもちまして「第1回星川環境保全検討委員会」を閉会させていただきます。ありがとうございました。</p> <p>5 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡事項の説明を行った。 <p>■ 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回検討会は12月中旬～下旬を予定している。 ・原風景に関する住民へのヒアリングは10月中旬に日程を調整・検討する。 ・キタミソウのモニタリングは11・12月を予定しているが、10月中旬に県内の自然保護団体へ相談しに伺う。